

2601 考古資料および文献史料からみた過去の地震・火山災害に関する情報の収集とデータベースの構築・公開

担当者 山崎健 (ytakeshi@nabunken.go.jp)

・実施機関（代表機関）名

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所

・研究目的

過去の災害を研究する場合、近代的な記録が整備されている時代のみを対象とするのでは不十分である。歴史的な記録類を参照するとともに、文字史料を補完する役割を果たす考古資料についても、発掘調査の場で災害の痕跡を正しく認識することによって、情報を収集・分析する必要がある。また、これらの情報をデータベース化して公開することで、従来よりも長期にわたる、より正確な地震・火山災害に関する情報を提供することが可能となり、災害痕跡の認識に関するレベルの向上を図るとともに、将来的な防災・減災に寄与することが期待される。